

同窓会会報

令 7.2.28



「変わらない校訓」



同窓会長 阿部 朗

同窓会会員の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

母校一迫商業高等学校は、昨今の情勢や少子化等により、令和7年度より宮城県築館高等学校「一迫商業キャンパス」として「情報ビジネス科」（定員40名）の募集が始まりました。学校紹介によると、キャンパス校では、一迫商業高校と同様に「地域を学びのフィールドとし、地域の課題解決に向けた実習に取り組みながら、情報活用能力を育成し、学校での授業と地域での実習との連携を図り、職業人として地域社会に必要とされる人材育成を目的とした取り組み『栗原版デュアルシステム』（販売実習・起業家研究・企業実習）を実践しています。『一人ひとりが輝くチーム一商』をスローガンに、生徒に寄り添った指導を行いながら、夢や目標を実現するためにチャレンジし続ける人材を育てています。」とあり、求める生徒像は一迫商業高校の校訓を引き継ぎ『誠実・自立・奉仕』のキャンパス校訓の下『地域社会の発展を担う職業人の育成を目指し、地域の産業・経済界等と積極的に連携・協働する学びを通して地域社

会の発展に貢献する学校』として歩みます。そこで、『目的意識を持つ生徒』『ビジネス情報分野に興味関心がある生徒』『地域社会に貢献する志のある生徒』『スポーツ・文化活動に取り組む生徒』を求めています。」とあります。地域社会の中で職業人として目的を持ち地域に貢献できる社会人が育つこととなります。私が思う理想形です。同窓生としても頼もしく思いますし、ご期待するところでもあります。

築館高等学校一迫商業キャンパスとなり、令和7年度からはキャンパス生が入学します。一迫商業高等学校同窓会の在り方も協議しなくてはなりません。今後、一迫商業高校卒業生と築館高等学校一迫商業キャンパス卒業生がどのような形で同窓会を形成するか課題・要望等を調整し、整えたいと思います。同窓生の皆様のご意見等もお寄せいただき、それに反映したいところです。

最後に、同窓生皆様がお元気で活躍されますようお祈りいたします。

「同窓生の皆様へ」



校長 小野寺 文男



同窓会会員の皆様には、日頃より本校の教育活動に對しまして、多大なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年度は、実行委員長の阿部朗同窓会長さんを

中心に、多くの同窓生の皆様のご協力のもと、創立五十周年の記念式典を盛大に開催することができました。当時私は他校に勤務しておりましたが、偶然にも来賓として式典に参加しており、一商生の式典に臨む姿を拝見し、大変感心しておりました。あれから一年が経ちましたが、今でも多くの方から素晴らしい五十周年記念式典だったと、お褒めの言葉をいただいております。

さて、本校の五十年の歴史において、五千名近くの卒業生を輩出しておりますが、地元で活躍される同窓生の皆様からは、今でも母校である一迫商業高校を在校生共々温かく見守っていただいております。そんな地域の方々に愛される一迫商業高校ではありますが、すでに皆さんもご存じのとおり、次年度の一年生より築館高校一迫商業キャンパスへと移行することとなりました。一迫商業高校として三学年全員が揃うのはこの三月までとなることから、同窓会、教育振興会、PTAが合同で企画し、思い出に残る「メモリアル花火」を二月に打ち上げました。本校の校章をかたどった特注花火は、皆さんの良き思い出になったでしょうか。

今年度、入学した三七名の新入生は一迫商業高校最後の入学生であり、最後の卒業生となる予定です。この春卒業する三年生や在校生の生徒たちはもちろんですが、一商キャンパス生として入学してくる新入生も今までの一商生同様、同窓生の皆様より温かく見守っていただけたら幸いです。

最後に同窓生の皆様におかれましては、健康に留意され、ますますご活躍されますことを祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

在校生の活躍

「将来を担う青少年が考えるまちづくりコンテスト」に参加して



三年二組 菅原 愛叶

私はこのコンテストに出場し最優秀賞をいただくことができました。きっかけは「市長さんに意見を聞いてもらおう」という先生からの一言で、私はそれを聞いてぜひやってみたいと思いました。私は、栗原市の観光地を活性化させることで栗原市を訪れる方を増やし栗原市の知名度を高めることで栗原市の人口増加ができると考え、「栗原市観光資源活性化に向けて」をテーマに発表しました。

栗原市は仙台から新幹線で30分、車で1時間程度で気軽に訪れることができる上、観光地が各地に点在していることに着目しました。そこで栗原市の観光地を巡る観光ツアーなら、観光地同士の結びつきを強化し、栗原市の知名度を向上させるいい起爆剤になると思ったのです。私は放課後に残って自分の理想を書き連ねました。多くの人からアドバイスを受け、どうやってこのテーマを栗原市の方々にプレゼンするか、どのようなスライドにすれば見やすいかなどを考え、時間のなの中でスライドを作り発表練習も行いました。そして、私の中の栗原市に対する思いや観光に関する考えをすべてスライドに託し当日を迎えました。

当日、会場には、私以外にも商業研究部や築館高校、岩ヶ崎高校といった市内の高校の代表の方々が来ていて、授業の一環で行った事や部活を通して行ったことを発表しました。私はただ一個人の意見でしつかり聴いて貰えるか不安でしたが、機会をいただいた以上は私の意見をしっかりと発表しようと思ひ発表しました。結果は最優秀賞をいただきました。自分の考えが皆さんに届いたのだと思うと、とても嬉しかったです。

その後、このスライドに関する内容を総合実践「起業家研究班」の活動として行い、起業家研究班全体で栗原市の観光産業活性化に向かう、いいきっかけにもなりました。この経験は私を成長させるとともに多くのものに挑戦するきっかけとなる機会にもなりました。



※写真左は、
優秀賞

大場愛華さん
(商業研究部)

メモリアル花火

2月19日夕方、穏やかな天気の中、感謝の花火が打ち上げられました。生徒達は地域住民の方々と美しい冬花火に見とれていました。



石楠花祭にて

今年度の石楠花祭では、創立50周年を記念した特別ブースが設置されました。過去の記念誌を手取る方、甲子園出場時の写真を興味深そうに見る方、懐かしそうにおしゃべりする方などが見られました。事前にテレビで告知したこともあり、遠方から来てくださった方々もいて、大いに盛り上がった石楠花祭一般公開でした。『あつまれ、同窓生!』のコーナーでお知らせしましたが、同窓会総会と同日・同場所で開催を聞いてみようかなと思う方は、ぜひ5月の役員会前にご連絡ください。多くの方の参加をお待ちしています。



事務局より

本校は令和7年度に築館高校一迫商業キャンパスとして入学生を迎えます。それに伴い同窓会の今後について、同窓会総会や役員会で意見が交わされてきました。今年度の総会は終了しましたが、多くの同窓生のみなさんからのご意見をお待ちしています。

学校の様子や一迫商業キャンパス情報はHPでも、ご覧ください。

